

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 04 09	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部医療推進課 医師確保対策室
事業名	後期研修医確保・養成支援事業			内線	2685	
				E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~ H25	根拠法令等	後期研修医確保・養成支援事業補助金交付要綱			
実施方法	補助(後期研修医が多く在籍する病院)					国庫・県単 国庫補助事業

事業の概要等	目的 (必要性)	中核的病院が行う後期研修医及び指導医の確保・養成のための取組を支援することにより、後期研修医及び指導医の増加を図るとともに、病院間の連携促進や医師不足病院への診療支援につなげる。				
	対象	研修医が多く在籍する臨床研修指定病院等				
	目指すべき姿	中核的病院が行う後期研修医及び指導医の確保・養成のための取組を支援することにより、後期研修医及び指導医の増加を図るとともに、病院間の連携促進や医師不足病院への診療支援につなげることで、県内の医師不足の解消を図る。				
	事業内容	次の条件を満たす病院への補助(基準額:1病院当たり 10,000千円) ・後期研修1年目から3年目までの医師が10名以上在籍している基幹型臨床研修病院。 ・病床総数が概ね400床以上であること、又は常勤医師が概ね70名以上在籍していること。 ・新たに県内の他の医療機関への診療支援を行うこと。 ・県内の他の医療機関との研修分野における新たな連携事業やネットワークづくりに取り組むこと。				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金:80,000千円(地域医療再生基金事業) 補助先:飯田市立病院ほか
	最終予算額 (A)		千円	80,000	80,000	80,000	
	決算額 (B)		千円	80,000	80,000		
	B(H24)はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.10	
	概算人件費 (C)		千円	1,663	1,652	826	
概算事業費 (B(H24)はA) + C)		千円	81,663	81,652	80,826		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 補助対象病院が実施する後期研修医を確保・養成するための環境整備や県内の他の医療機関との連携による研修やネットワークづくりを支援することにより、後期研修医の確保、他の医療機関への研修派遣や診療支援の実施につながった。 (効率指標 算出式) 概算事業費/診療支援医療機関数
	補助対象病院数(活)	病院	8	8	8	
	診療支援実施医療機関数(延べ)(成)	医療機関	13	24	24	
	<効率指標(単位当たりコスト)> 診療支援実施医療機関	千円/医療機関	6,282	3,368	3,368	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価			評価区分 b 期待どおり
	研修医が多く在籍している中核的な病院を重点的に支援することにより、病院間の連携促進や医師不足病院への支援(平成22年度の診療支援にプラスした診療支援)につなげる。		後期研修1年目～3年目の医師が10名以上在籍し、平成22年度から新たに県内医療機関に対して診療支援を実施した8病院に対し、補助金を交付することにより、後期研修医確保のための環境整備や医師不足病院への支援につながった。			

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 研修医が多く在籍している地域の中核的な病院を支援することにより、後期研修医を確保し、医師不足病院への診療支援を行うことが可能となり、概ね期待どおりの成果を得ることができた。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	中核的な病院が行う後期研修医等の確保・養成のための取組を支援することにより、県内の後期研修医の増加及び医師不足の医療機関への診療支援につなげ、地域医療を維持することが必要である。				
	特記事項					